

消 火 器 操 法 実 施 要 領

消火器は、火災初期の段階で消火する器具です。

(操法概略)

自動火災報知設備の鳴動により競技開始。自動火災報知設備受信機の地区窓と火災を確認し、119番通報を行った後、消火器による消火を行うもので、時間と取扱いの的確さを競う1チーム2名、約1分間の競技です。

指 揮 者	1 番 員
事務所の椅子に座って待機する。	
係員の旗及び「操法開始」の合図後、自動火災報知設備の鳴動により椅子から立ち上がり、後方の地区窓を指差しで確認し、直ぐに1番員へ「 <u>〇〇より発報、火災確認</u> 」と指示する。	係員の旗及び「操法開始」の合図後、自動火災報知設備の鳴動により椅子から立ち上がり、後方の地区窓を確認し、指揮者の「 <u>〇〇より発報、火災確認</u> 」の指示に「よし」と答え、机の上のヘルメット、手袋を着けた後、発報箇所の火災確認に向かう。
机の上のヘルメット、手袋を着け、1番員の火災確認を待つ。	発報箇所で「 <u>火災</u> 」と指差し呼唱した後、指揮者に「 <u>〇〇の火災確認</u> 」と伝える戻る。
1番員の「 <u>〇〇の火災確認</u> 」を受け、1番員に「 <u>119番通報と消火</u> 」と指示し、1番員の「よし」を受けた後、消火器設置場所の消火器を持って標的①の消火に向かう。	指揮者の「 <u>119番通報と消火</u> 」に「よし」と答え、机の上の電話で119番通報。通報後、消火器設置場所の消火器を持って標的②の消火に向かう。
途中、標的①の近くの危険物を移動するため、消火器をその場に置き、危険物を危険物移動エリアまで移動し、「 <u>危険物移動よし</u> 」と指差し呼唱した後、消火器を持ち、標的①を消火する。	消火器で標的②を消火する。
消火（緑ランプ及びブザー又は係員の合図）を自ら確認し、「 <u>消火よし</u> 」と指差し呼唱する。その後、予備の消火器を持ち、1番員の消火を監視する。 1番員の「消火よし」の呼唱で、「 <u>消火よし</u> 」と指差し呼唱で確認する。 確認後、姿勢を正して1番員に「 <u>もとの位置に集まれ</u> 」と指示し、1番員と共に戻り、指揮位置に姿勢を正して立つ。	消火（緑ランプ及びブザー又は係員の合図）を自ら確認し、「 <u>消火よし</u> 」と指差し呼唱し、姿勢を正して、指揮者の「 <u>もとの位置に集まれ</u> 」の指示に「よし」と答え、集合線に戻り、姿勢を正して立つ。
指揮位置から1番員に「解散」と指示し1番員と共に退場する。	集合線に立ち、指揮者の「解散」の指示で退場する。

※規定タイム

指揮者は、「119番通報と消火」の「か」から標的①の消火完了までの30秒。

1番員は、119番通報の後、電話機に受話器を戻した時点から標的②の消火完了までの25秒。